

平成 31 年度(令和元年)自己評価公表シート

第一・第二さくら幼稚園

1、園の教育目標

さくら幼稚園は学校教育法による幼稚園として幼児教育をしっかり貫いていく。

大切なことは、教師のすぐれた資質と日々の研究意欲と情熱であり

それが、特色あるさくら幼稚園の教育方針を育てている。

本園ではめざす幼児像として以下の項目を掲げる。

- ・何ごとにも一生懸命取り組む子に育てたい。
- ・もの事に良し悪しがあることを少しずつ気づかせてあげたい。
- ・教師の話や人の話をしっかり聞く子になってほしい。
- “はい” “ごめんなさい” “ありがとうございます”が素直にいえる子供になってほしい。
- ・大自然や友だちとのかかわりの中に、驚きや感動がたくさんあり、こんな体験を1つでも多くしてほしい。

2、本年度、重点的に取り組む具体的な目標や計画

H21年12月から教員個々のチェックシートによる自己評価を開始。H22年3月に学校関係者評価委員による学校評価を実施後、自己評価項目一覧アンケートの適用を定期的に行い、結果を理事会に報告することが定着してきた。本年度は自己評価チェックリストを当園の教育方針に適した内容となるように見直しをし、自己評価を保育の振り返りとする。

災害や緊急事態発生を想定した避難訓練を毎月行い、各職員や園児が落ち着いて行動できるように、時間帯や発生状況を変えて訓練を行い、安全管理に努める。

3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
自己評価項目一覧アンケート	H26年度 第一、第二とも目標の95%をクリア。 H27年度 第一94.8%、第二93.2% H28年度 第一97.9%、第二92.7% H29年度 第一95.7%、第二96.1% H30年度 第一80.6%、第二88.3%
避難訓練を行い安全管理に努める	災害や緊急事態発生時の各職員の役割分担を決め、どのような状況の発生でも安全に避難誘導ができるように、状況や時間帯を変え訓練を行う。園児にも落ち着いて行動できるようにその都度話をし、良かった点や悪かった点を園児と一緒に考え、次に生かせるようにしている。 今年度は保護者にも協力していただき、引き渡し訓練も行いました。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

自己評価を行うことで保育を振り返り、自分の課題を見出すことで、反省点や改善点を考え工夫して保育に取り組めるようになってきた。また日々の職員間の話し合いの中で、それぞれの保育を振り返ることで、自信になる事や、努力すべきことも見え、個々の保育に対する意欲の向上に繋がっている。

資料①

何度も訓練を重ねることで職員や園児の意識も高まり、入園したばかりの年少さんや、さくらんぼさんは、最初は不安で泣きだす子もいましたが、今では素早く自分の身を守る行動ができるようになりました。

保護者の方にも協力していただき、実際の引き渡し時と同様に、素早く確実に行えるよう職員間で事前に何度も話し合い、また、訓練の後には、反省点を踏まえ、改善できるよう反省会を行いました。

今後も、常に高い意識を持ち、安全管理に努めるよう努力いたします。

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
情報公開の方法	園だよりや参観日などを通して保護者への周囲徹底に取り組み、さらに一般の方が利用しやすいホームページ等の活用を継続していく。
教育目標と連鎖した評価項目を作成 計画・実施・反省・対応 (PDCA) のサイクルを確立する。	全私幼幼児教育研究機構提供の自己評価項目一覧(教職員編)を参考として当園に適合するように見直しを継続していく。

6、学校関係者評価委員会の意見

- ・安全管理では、毎月避難訓練を実施されていますので、今後も継続していただきたい。
- ・自己評価を実施されることで、個々の保育の振り返りとなり、日々の職員間の話し合いの中で改善方法等見いだされていると思います。教職員間のコミュニケーションがしっかり取れていると感じました。
- ・教育、保育では3年間の育ちをよく考えて頂き、教職員の皆さんが熱心に目標をもって日々の保育に取り組まれている。一人ひとりの育ちや発達を、担任だけでなく、教職員間で日々の話し合いを通して把握し、よりよい環境、保育に取り組まれている。
- ・研修会にも参加されており、園内の研修会やミーティングの時等に、報告しあい教職員間で共有されている。

7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。

総合

- I 保育の計画性
- II 保育の在り方、幼児への対応
- III 保育者としての資質と能力
- IV 保護者への対応
- V 研修と研究

H30平均自己評価(第一さくら)

H29平均自己評価(第一さくら)

81.5

93.5

83.7

98.2

81.4

99.0

84.6

99.1

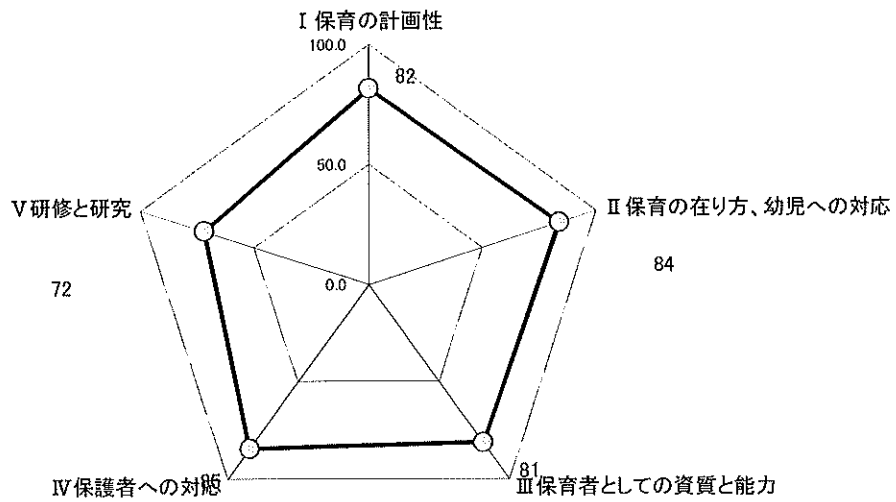
72.0

88.5

80.6

95.7

H30年度 第一さくら幼稚園
自己評価教職員



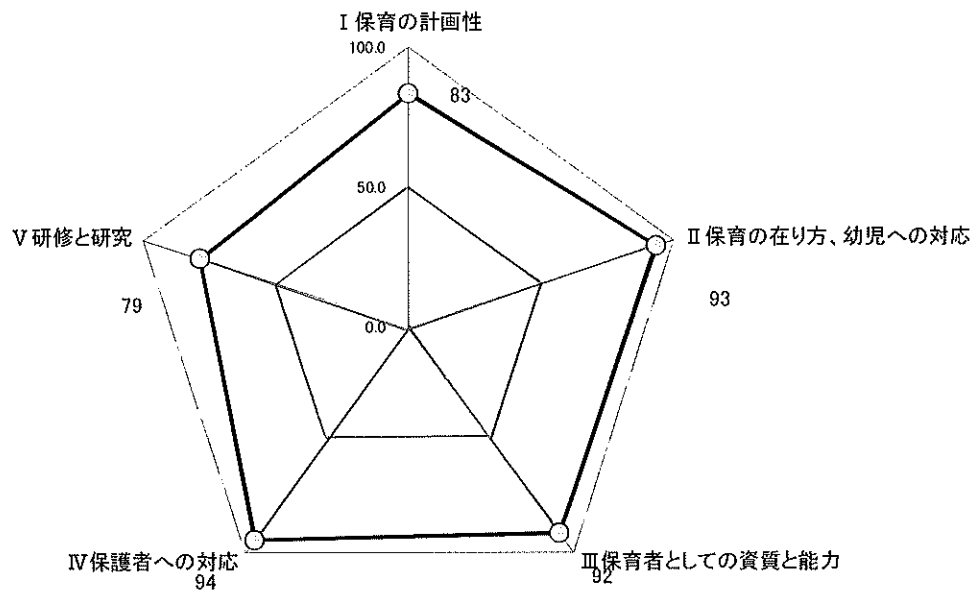
○ H30平均自己評価(第一さくら)

総合

- I 保育の計画性
- II 保育の在り方、幼児への対応
- III 保育者としての資質と能力
- IV 保護者への対応
- V 研修と研究

	H30平均自己評価(第二さくら)	H29平均自己評価(第二さくら)
I 保育の計画性	83.3	98.8
II 保育の在り方、幼児への対応	93.3	99.8
III 保育者としての資質と能力	91.5	98.2
IV 保護者への対応	94.5	100.0
V 研修と研究	78.6	83.9
	88.3	96.1

H30年度 第二さくら幼稚園
自己評価教職員



○—H30平均自己評価(第二さくら)